授業科目名	JavaScript			年　次		2 年	
				学　科		Web クリエイター科	
担当教員名	松岡　慎吾			開講年度・学期		2025 年度　・　通年	
授業の方法	実習	週時限数	1	年間授業時数	38 時間	科目区分	選択
実務経験の有無	有	実務経験	国内小売業グループにおいて ICT 推進業務及びシステム開発業務に従事。				
授業の概要（実務経験を活かした教育内容）	本科目では、ウェブブラウザ上で動作するプログラミング言語「JavaScript」について学習する。クライアントサイドで実行される JavaScript の特徴を理解し、ユーザ操作に応じて動的に変化するインタラクティブなウェブページの実装技術を習得する。また、代表的な JavaScript ライブラリやフレームワークについても触れ、現代のフロントエンド開発の全体像を把握する。						
授業の到達目標	1. ウェブアプリケーションにおけるサーバサイドとクライアントサイドの違いを理解し、説明できる。 2. JavaScript の基本文法を理解し、基本的なプログラムを作成できる。 3. DOM 操作を通じて、HTML/CSS と連携したインタラクティブなウェブページを実装できる。						

授業計画

月	内容
4	・JavaScript の特徴、環境構築
5	・変数宣言と代入、基本的な演算子
6	・条件分岐（if 文、switch 文）、繰り返し処理（for 文、while 文）
7	・配列、オブジェクト
8	―
9	・関数 ・前期末試験実施
10	・DOM（Document Object Model）基礎
11	・DOM 操作（要素取得、イベントリスナーの設定）
12	・DOM 操作（属性操作、要素生成・削除）
1	・Ajax、SPA（Single Page Application） ・卒業試験実施
2	―
3	―

成績評価の方法	前期（9 月）と後期（1 月）の定期試験および受講状況を以って評価する。 成績評価基準：優（100～90）・良（89～70）・可（69～40）・不可（39～0）
準備学習・事後学習等	Web 基礎の授業内容を振り返り、HTML および CSS について復習すること。
テキスト	なし
参考書・参考資料等	なし
その他（学生に対する要望、メッセージ）	私たちが日常的に使用するウェブサービスは、JavaScript によって快適な操作性と豊かな表現を実現しています。そして今、JavaScript はウェブブラウザの中だけにとどまらず、TypeScript による堅牢な開発や、Node.js によるサーバサイド開発まで、活躍の場を大きく広げています。ウェブページに「動き」と「対話性」を与える JavaScript の可能性を探求しましょう。